

保守期限コードの更手順

ソフトウェアのアップデートを行わない場合でも保守ユーザー用機能を継続してご利用いただくには保守期限コードの更新が必要になります。

なおコードの有効期限が切れることで使用不可となる機能は以下の通りです。

機能	内容
バッチ実行	ファイル転送や言語翻訳を任意の組み合わせで実行します。
タスク処理	様々な補助機能を組み合わせて実行します。
ファイルオブジェクト変換	IBM i 上のファイルオブジェクトから設計書やメンバーソースを作成します。
Web 設計書の作成	翻訳された設計書を HTML+SVG 形式に変換します。
PDF 設計書の作成	翻訳された設計書を PDF ファイルに変換します。
DocuWorks 設計書の作成	翻訳された設計書を DocuWorks ファイルに変換します。
Excel 設計書の作成	翻訳された設計書を Excel 形式に変換します。
ZDF 設計書の作成	翻訳された設計書を ZDF 形式に変換します。
DB 変換ツール	翻訳された設計書や辞書を ACCESS 形式などに変換します。
簡易問い合わせサーバー	ウェブブラウザから問い合わせを行うための簡易的なサーバーです。

保守ユーザー用機能をご利用頂いている場合は下記の手順に従ってコードの更新を行ってください。

- ①スタートメニューの「Trinity」から「キー設定」を起動します。
- ②メニューの「ファイル」→「保守期限コードの設定」をクリックします。
- ③マスターコードが表示されますので、弊社宛にメールでお送りください。
- ④弊社から保守期限コードが返送されたら①～②の手順で「保守期限コードの設定」を起動します。
画面が表示されたら保守期限コードを設定して更新ボタンをクリックします。

以上の手順がうまくいかない場合、以下の手順をお試しくください。

- ①Trinity の導入先フォルダ内の Winfd フォルダを開きます。
例 c:¥TR_ENP¥Winfd
- ②「SetProtectCode.exe」を起動します。
- ③画面にマスターコードが表示されますので、弊社宛にメールでお送りください。
- ④弊社から保守期限コードが返送されたら①～②の手順で「SetProtectCode.exe」を起動します。
画面が表示されたら保守期限コードを設定して更新ボタンをクリックします。

更新後に保守期限の確認を行う場合は以下の手順で行います。

- ①スタートメニューの「Trinity」から「キー設定」を起動します。
- ②メニューの「ファイル」→「ライセンス情報の表示」をクリックします。
- ③ダイアログが表示されますので、画面一番下の「保守期限」を確認します。

保守期限コードの更新手順については以上です。

不明点がございましたらお手数ですがお問い合わせください。

株式会社 ZeroDivide 倉橋 徹次
[mail:t_kurahashi@zerodivide.co.jp](mailto:t_kurahashi@zerodivide.co.jp)